

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公表番号】特表 2006-519689 (P2006-519689A)

【公表日】平成 18 年 8 月 31 日 (2006.8.31)

【年通号数】公開・登録公報 2006-034

【出願番号】特願 2006-504590 (P2006-504590)

【国際特許分類】

**B 0 5 D 7/02 (2006.01)**  
**B 0 5 D 1/36 (2006.01)**  
**B 0 5 D 7/24 (2006.01)**  
**B 3 2 B 27/32 (2006.01)**  
**C 0 8 J 7/04 (2006.01)**  
**C 0 9 D 201/10 (2006.01)**  
**C 0 9 D 5/00 (2006.01)**  
**C 0 9 D 123/00 (2006.01)**  
**C 0 9 D 123/12 (2006.01)**  
**C 0 9 D 7/12 (2006.01)**  
**C 0 9 D 125/00 (2006.01)**

【F I】

B 0 5 D 7/02  
 B 0 5 D 1/36 B  
 B 0 5 D 7/24 3 0 2 Y  
 B 3 2 B 27/32 E  
 C 0 8 J 7/04 E  
 C 0 9 D 201/10  
 C 0 9 D 5/00 D  
 C 0 9 D 123/00  
 C 0 9 D 123/12  
 C 0 9 D 7/12  
 C 0 9 D 125/00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 2 日 (2007.3.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シラン官能性の 1 以上の非極性重合体を含むプライマーを非極性基体上に塗布する段階、そしてその後に顔料入りコーティングの 1 以上の層をプライマー層上に塗布する段階を含む、非極性基体をコーティングする方法。

【請求項 2】

プライマー上に塗布されるコーティング組成物がベースコートであり、そしてその後にクリアコートの 1 以上の層がベースコート上に塗布される、請求項 1 に従う方法。

【請求項 3】

ベースコートおよびクリアコートがウェットオンウェットで塗布され、そしてその後の段

階と一緒に硬化される、請求項 2 に従う方法。

【請求項 4】

アルキル化芳香族炭化水素樹脂および非極性重合体を含むプライマー組成物であって、該重合体がシラン基を含む組成物。

【請求項 5】

重合体がポリオレフィンである、請求項 4 に従うプライマー組成物。

【請求項 6】

ポリオレフィンがポリプロピレンである、請求項 5 に従うプライマー組成物。

【請求項 7】

1 以上の伝導性顔料を含む、請求項 4 に従うプライマー組成物。

【請求項 8】

シラノール縮合触媒を含む、請求項 4 に従うプライマー組成物。

【請求項 9】

シラノール縮合触媒が有機スズ化合物である、請求項 8 に従うプライマー組成物。

【請求項 10】

有機スズ化合物がジラウリン酸ジブチルスズである、請求項 8 に従うプライマー組成物。

【請求項 11】

重合体が重合体の 20 重量%まで、たとえば 3 ~ 10 重量%、たとえば約 5 重量%のシラン官能性基を含む、請求項 4 に従うプライマー組成物。

【請求項 12】

請求項 1 に従ってコーティングされた非極性基体。

【請求項 13】

基体がポリオレフィン基体である、請求項 12 に従う非極性基体。

【請求項 14】

ポリオレフィン基体がポリプロピレン基体である、請求項 13 に従う非極性基体。

【請求項 15】

基体がゴム変性ポリプロピレンである、請求項 14 に従う非極性基体。